



ふれあいだより

FUREAI DAYORI



2025年 11月号 第62号



介護の日とは

厚生労働省では、「介護についての理解を深め、介護に関わるすべての人を応援する日」として、 **11月11日を『介護の日』**と定めています。

この日は、介護に携わる方々や介護を受ける方、ご家族、そして地域の人々が、互いに支え合い、 交流を深めるきっかけとなるよう願いが込められています。

※「介護の日」は、平成20年7月27日に開催された「福祉人材フォーラム」で、厚生労働大臣から発表されました。

今月号もくじ

- ① 深沢地区の交流拠点「ザガレージカフェ」を訪ねて①
- ② 深沢地区の交流拠点「ザガレージカフェ」を訪ねて②
- ③ 「サニーカフェ」でコグニサイズを開催します!
- ④ 「オレンジカフェ」ふれあいの泉で定期開催中です
- ⑤ 鎌倉女子大学で認知症サポーター養成講座を実施
- ⑥「介護をラクにするおむつ講座」を開催します
- ⑦ 参加者募集中!注目の企画をご紹介

ふれあい便り はネットにも 掲載しています



鎌倉市地域包括支援センターふれあいの泉

発行日令和7年11月1日 発行者:地域連携担当 渡邊住所:鎌倉市今泉2-4-10 TELL:0467-43-5977

https://www.reijukai.or.jp/



深沢地区の交流拠点「ザ ガレージカフェ」を訪ねて①







10月20日、深沢地区で開催されている「ザ・ガレージカフェ」を見学してきました。「地域のハブ(自転車の車輪を支え、回転させる部品)のように、地域の中心となって、みなさんとつながりを支え合い、この場所から地域を盛り上げていきたい」――そんな実際に母親の介護経験を持つオーナーの思いから設立されたカフェです。当日は、認知症当事者、民生委員、近隣住民、地域包括支援センター、かまくらりんどうの会(家族会)など、計13名の方が参加されました。

今回の出前講座では「若年性認知症」について話し合いを行いました。

若年性認知症とは、65歳未満で発症する認知症を指します。仕事を続けたいという思いを持つ方も多い一方で、症状の進行が比較的早く、身体と気持ちが一致しにくいことや、高齢者向けに設計された介護保険制度とのミスマッチなど、さまざまな課題がある現状も共有されました。

意見交換では、参加者から次のような大切な意見が出されました。

- ① 当事者の望んでいる支えが何かを一緒に確認しながら進めていくこと。
- ② 元気なうちから、自分の想いを周囲に伝える努力をしていくこと。

こうした意見を交えながら、当事者の方々と共に過ごす有意義な時間となりました。今後も、大船地域での活動に今回の意見を活かせるよう、引き続き取り組んでまいります。



深沢地区の交流拠点「ザ ガレージカフェ」を訪ねて②





鎌倉市では、市内にあるオレンジカフェの活動をまとめた冊子を作成しています。

現在、冊子では市内各地域 の合計10か所のカフェを紹介 しています。

当センターにも冊子のご用 意がありますので、気になる 方はお気軽にお問い合わせく ださい。

ザガレージカフェ

「地域のハブ(自転車の車輪を支え回転させる部品)になりたい。 地域の中心となり、みなさんとつながり支え合い、この場所から 盛り上げていきたい」というオーナーの思いで設立しました。 認知症などに関しての『ミニ講座』を行いますが、オーナーと 自転車の話や、食事をするだけでもいいので、お立ち寄りください。 Tokiwa 常盤 7



活動場所 - The Garage (ザガレージ)

活動日時 ● 毎月第3月曜日

参加費 ← 無料 ※一人 1 杯以上ドリンク等注文(代金別途)

参加申込方法 ・・・ 予約なし









連絡先・

0467-53-7077 The Garage (ザガレージ) 小澤

「サニーカフェ」でコグニサイズを開催します!

11月26日(火)、第4弾サニーカフェを開催 します!サニーカフェは、大船4丁目にあるサ ニーステージ北鎌倉で開催している交流の場で す。「認知症の方も、そうでない方も、気軽に 集い、交流できる場所」を目指し、2か月に1 度のペースで開催しています。

これまでの開催内容は、

- 第1回:体操教室(元気ジム大船の運動指導員による指導)
- 第2回:フォークダンス(今泉さわやかセンターの「さわやかフォークダンス」メンバーによる指導)
- 第3回:コーラス(大船地域の有志の方に よるご協力)

と、毎回多彩な内容で行ってきました。 そして今回は、第4回目のテーマを「コグニサイズ」として開催します。

講師は、県内各地でコグニサイズ講師派遣事業を行っているかながわ健康財団の方々です。 頭と体を同時に使うこの運動は、認知症予防にも効果的とされており、楽しみながら健康づくりに取り組めます。地域の方々のご参加を心よりお待ちしています!

お申し込み・お問い合わせは、下記まで **↓** サニーステージ北鎌倉 担当:井上様

TEL: 0467-44-3232











「オレンジカフェ」ふれあいの泉で定期開催中です

今泉の特別養護老人ホーム「ふれあいの泉」では、オレンジカフェを開催しています。カフェを新設してから半年が経ち、10月で第6回目を迎えました。これまでに65名の方にご参加いただき、近隣の皆さまをはじめ、入居者やご家族にもご利用いただいています。

当初はコーヒーや紅茶の提供からスタートしましたが、参加者の皆さまの声をもとに、ケーキセットの提供も始めました。さらに、開催をより知ってもらえるように、10月からはオレンジ色ののぼりを立てています。

カフェでは、近隣住民の方々が主体となり、紙芝居やピアノ演奏などを披露してくださることもあります。住民同士の支え合いで地域のつながりを感じられる、 あたたかい時間が流れています。

また、大船図書館のご協力により、認知症に関する本をテーブルに設置し、**「知るきっかけ」や「理解を深める場」**としても活用しています。

ちょっとした相談やお話をしたい方も、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

- ❷ 開催日:毎月第2土曜日 13:00~15:00
- → ※お車での来場はご遠慮ください。











鎌倉女子大学で認知症サポーター養成講座を実施

10月14日、鎌倉女子大学児童学部子ども心理学科の4年生59名を対象に、認知症サポーター養成講座を開催しました。

この講座は「建学の精神実践講座」として実施され、担当の先生からは「社会人になってからもぜひ知っておいてほしい内容です」とのお話があり、学生の皆さんが認知症について真剣に学ぼうとする姿勢が印象的でした。

当日は、鎌倉市市民健康課・地域包括支援センターふれあいの泉・高齢者生活支援サポートセンターの3者が協力し、スライドを用いて説明を行いました。はじめに学生の皆さんへ認知症の印象を伺うと、「すぐに忘れてしまう」といった声が多く、理解が十分でない様子も見られました。

講座では、DVDを通して当事者の気持ちやご家族の向き合い方を紹介し、続いて市民健康課の保健師が認知症の基本的な症状について解説しました。その後、当センターからは相談できる窓口や支援体制を紹介し、実際の事例をもとにした対応例を共有しました。

最後に、高齢者生活支援サポートセンターより、 在宅生活を支える支援者の役割について説明を行いました。今回の講座を通じて、学生の皆さんが 認知症を正しく理解し、「一人で抱え込まず、周 囲に相談することの大切さ」を感じてもらえたこ とを願っています。









「介護をラクにするおむつ講座」を開催します

11月25日(月)、**ご自宅で介護をされているご家族の方向けに「家族介護教室」**を開催します。

在宅介護の中でも、特に負担が大きいといわれるのが排泄のケアです。

食事や入浴のように時間を決めて行うことが 難しく、1日に何度も対応が必要になるため、 介護される方・する方の双方にとって負担がか かりやすい分野でもあります。

一方で、おむつやリハビリパンツ、パッドなど の正しい使い方や選び方を学ぶ機会は限られて います。

ドラッグストアでも多くの商品が並んでいますが、専門的に説明を受けられる場は少ないのが現状です。

そこで今回は、実際に介護用品を販売している 白十字株式会社の担当者を講師に迎え、

おむつの構造や機能、適切な使い方について わかりやすく解説していただきます。

会場は大船駅からイトーヨーカドー方面へ向か う途中、旧サン・サイトウ跡地の建物内にあ り、駅からのアクセスも便利です。

ぜひこの機会にお気軽にご参加ください。

┗ お申込み・お問い合わせ

地域包括支援センターふれあいの泉

TEL:0467-43-5977 担当:渡邊



















担当:渡邊 43-5977

地域包括支援センターふれあいの泉

